

国際公共政策研究科博士前期課程カリキュラムマップ

	高度な専門性と深い学識	教養	国際性	デザイン力	1年		2年	
					春・夏学期	秋・冬学期	春・夏学期	秋・冬学期
法学・政治学・経済学における高度な専門的能力を身につけている	○				基礎科目	国際法 国際関係論 ミクロ経済分析Ⅰ・Ⅱ 国際公共政策のための法律学 経済数学 計量データ分析Ⅰ・Ⅱ マクロ経済分析		
著者の問題意識、方法論、分析・論証及び結論が論理的に構築された修士論文が、①新規性、②継承性、③実証性、④論理性、⑤明確性を備えたうえで、専攻分野の発展に貢献する研究内容を含んでいる	○				専門科目	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px dashed blue; padding: 5px;"> 法律系 国際判例研究 国際人権法 国際環境法 武力紛争法 海洋法・航空宇宙法 国際経済関係の法と制度 ヨーロッパ人権保障体制 国際私法 国際取引法Ⅰ 環境法 比較憲法論 法政策学 法社会学 現代私法論 EU法など </div> <div style="border: 1px dashed blue; padding: 5px;"> 政治系 国際関係論の理論と方法 比較政治システム論 紛争研究概論 平和構築論 国際行政論 多文化共生論 核兵器と国際関係 アメリカ外交論 アフリカの政治と紛争 歴史研究方法論Ⅰ・Ⅱなど </div> <div style="border: 1px dashed blue; padding: 5px;"> 経済系 Microeconomic Theory Macroeconomic Theory Econometric MethodsⅠ・Ⅱ Data Management & Analysis Political EconomicsⅠ・Ⅱ 国際経済学Ⅰ・Ⅱ 公共経済学 現代財政システム論 労働経済学の実証分析 経済開発論 人材配置の経済学 行動経済学 経済学の理論と実証Ⅰ・Ⅱなど </div> </div>	研究演習Ⅰ・Ⅱ	修士論文執筆 (12月口頭報告審査会)
専攻分野における研究能力または高度の専門性が求められる職業を担うための能力を身につけている	○							
法学、政治学、経済学以外の学問分野にも広く通曉し、それを高い次元で理解している	○							
様々な学問分野の知識とその理解を基盤とした複眼的思考力を身につけている。	○							
世界の人とコミュニケーションする能力を身につけている			○					
国際社会の一員として共生できる能力を身につけている			○		応用・展開系科目	国際英語報道論 Gateway to Europe		
自己の主張を明瞭・平明に記述し、明解なプレゼンテーションを行うことができる				○		リーダーシップを考える 実践グローバル・リーダーシップ リーダーシップデザイン ネゴシエーション		
高度な学問的修練に基づいた分析手法の下に、公共利益の観点から国際的問題や日本の社会システムに関わる現実の問題に対して、解決のための政策提言をする能力を身につけている				○	応用・展開系科目	国際問題Ⅰ・Ⅱ 総合安全保障 国連安保理研究ワークショップ マスコミと公共政策 非営利組織論 インターンシップ		

単位互換制度
 ・ 他研究科
 ・ 国内外の学術交流協定締結校

ダブルディグリー・プログラム
 (デ・ラ・サール大学、グローニンゲン大学)